

遼寧だより（令和7年4月）

■ 4月の実施事項

- 4/4（金）～4/6（日） 清明節休暇
4/23（水） 日语角（日本語コーナー） ……（1）
4/26（土）～4/27（日） 丹東市視察 ……（2）

（1）「日语角」（日本語コーナー）

4月23日（水）に日本語で交流を行う「日语角」（日本語コーナー）に参加しました。日本人留学生による日本の関西地区に関する発表の後、グループに分かれて話題を自由に設定して会話を楽しみました。参加者の中には、日本へ旅行や留学をした経験のある学生もいて、印象に残った日本の観光地や食べ物などについてお話を聞くことができました。好きな音楽や語学学習に関する事など、お互いに興味のあることについて話していると時間はあっという間に過ぎていきます。今後も学生のみなさんとの交流を大事にしていきたいと思いました。



日语角 集合写真

（2）丹東市視察

4月26日（土）～27日（日）に丹東市へ視察に行きました。丹東市は遼寧省の南東部に位置しており、鴨緑江を隔てて北朝鮮と接する国境の町です。このような立地であるため、朝鮮族が多く居住しており、市内では朝鮮料理のお店や朝鮮語で記載された看板をたくさん見かけました。今回の視察で訪れた場所をいくつか紹介します。

まず初めに「鴨緑江断橋」は、かつて丹東市と北朝鮮の新義州市を結んでいましたが、朝鮮戦争中の1950年に国連軍の爆撃によって北朝鮮側が落橋しました。残った中国側の橋は今でも歴史遺産として残っており、観光地として多くの人々が訪れています。橋を渡っている間、後ろを振り返れば丹東市の景色が、前を向くと北朝鮮の景色が広がっているためとても新鮮な気持ちになりました。観光船に乗ってより北朝鮮に近づくと、現地で生活する人々の姿を見ることができました。

次に「虎山長城」は、明の時代に建設された万里の長城の東端とされています。最高地点の標高は約146メートルで、はじめはなだらかな道だったのが急に勾配が険しくなり、手すりに繋がりながらなんとか頂上まで登りました。頂上では中朝両国を眺めることができました。登っている最中は険しい道もありましたが、豊かな自然と開放感ある景色に囲まれてリフレッシュすることができました。

今回の視察では、国境の町ならではの特色ある遼寧省の魅力に触れることができました。また、訪れた先々で現地の方や観光客の方からその場所にまつわる歴史や丹東市のおすすめの料理などを教えていただき、人々の温かさにも触れることができました。今後も省内の様々な地域に足を運んで、より遼寧省への理解を深めていきたいと思いをします。



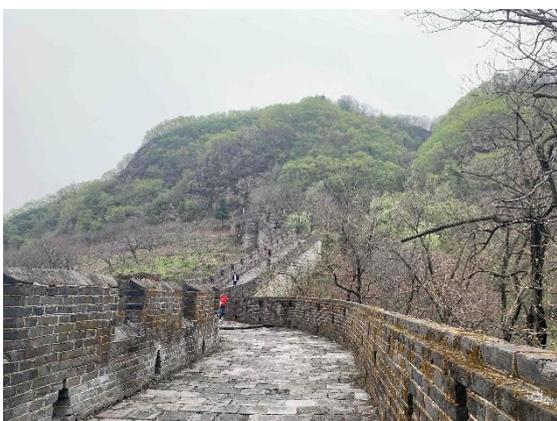
鴨緑江断橋



鴨緑江の向こう側の北朝鮮の景色



虎山長城



頂上までの道